

こうべっ子読書活動推進プログラム

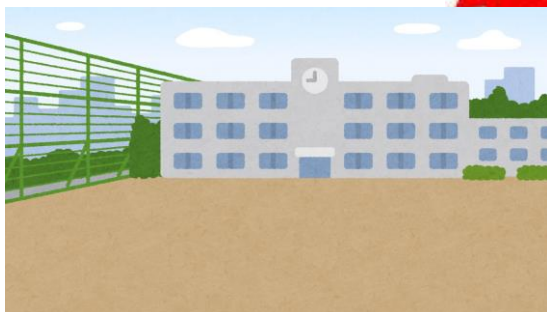
子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、思考力や表現力を高め、創造力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上でとても大切なものです。本は私たちを様々な世界へ連れて行ってくれ、様々な人々と心を通わせる体験をさせてくれます。

また、インターネットやSNSなどが普及している現代の情報化社会においては、子どもたちが多様な情報通信手段の特徴を活かして読書に親しみ、必要な情報を的確に選択して活用できるようになることも期待されています。すべての子どもが魅力ある本にふれ、読みたい時に読みたい場所で自主的な読書活動ができるように、子どもの発達段階に応じた取組みにより、子どもの読書習慣を形成し、読書活動をめぐる諸条件を整備することを目的として、本プログラムを策定します。

家庭・地域



学校園



図書館



神戸市

令和3年4月

1. 家庭における読書活動推進の取組

幼い頃から本に親しむことは、子どものことばや心の成長にとって大いなる栄養素になると言われています。家庭は基本的な生活の場であり、子どもが日常生活を過ごすなかで自然に本を親しむことができる環境をつくることが重要です。保護者が子どもの成長にあわせて絵本の読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだりするためのきっかけとなるよう、子育て関係部局と図書館、学校園が連携し、さまざまな本の紹介や家族での読書活動の推進に取り組んでいきます。

◆ 読書へのきっかけづくり

○ 乳幼児期から絵本にふれあう機会づくり

- ・子育て支援センターと図書館の連携により保護者向け講座を充実
- ・読み聞かせボランティアと協働して乳幼児を対象としたおはなし会等を開催
- ・ホームページや子育て関連SNS等での情報発信



乳幼児と保護者向け絵本講座

○ 家庭での読書推進

- ・「家読（うちどく）」の推進 … 子どもを中心に家族で同じ本を読み、交流を深める
- ・家族での図書館利用の推進

2. 地域における読書活動推進の取組

子どもの読書活動を推進するためには、子どもの身近なところで本と親しむことができる環境をつくるのが重要です。このため、子どもが気軽に立ち寄り、本と出会う環境を地域に整備するとともに、とりわけ読書離れが危惧される中高校生を引き付ける行事やしかけ、情報発信を行うなど、読書活動の普及・啓発に努めます。

また、子どもの読書活動推進の大きな担い手である読書ボランティアの活動を支援し、連携した取組を行います。

◆ 地域における本に親しみやすい環境づくり

○ 児童館や公民館、家庭文庫等における、本に親しみやすい環境づくり

- ・おはなし会や読書につながるイベント開催

○ 青少年施設との連携

○ 市民図書室の利用促進

○ 読書ボランティアとの協働



ボランティアグループによるおはなし会

3. 学校園における読書活動推進の取組

学校、幼稚園や保育所（園）等は、子どもの主体的、意欲的な読書習慣を培う場として、重要な役割を担っています。このような場において、計画的、継続的に子どもの読書活動が推進されることは、子どもの読書に対する意欲の向上や読書習慣の確立、さらには言語能力の向上のためにとっても大切なことです。

学校園においては、幼稚園・保育所（園）の蔵書の充実や学校図書館の活性化等、子どもの読書環境の整備を行うとともに、本との出会いづくりや読書への意欲を高める取組を行います。また、保護者や地域と連携した読み聞かせの実施や学校図書館の活性化を図るとともに、情報発信を行います。幼稚園・保育所（園）においては、園児だけでなく地域の幼児や保護者に対する読書活動推進の取組を行います。

幼稚園・保育所（園）

◆ 絵本や物語との楽しい出会いづくり

- 園児への絵本の貸出や、親子絵本貸出の充実
- 日本語を第一言語としない子どもや、特別な支援を必要とする子どもへの読書活動推進
- 市立図書館との連携

小学校・中学校・高等学校等

学校においては、司書教諭や学校司書が中心となり、学校全体での読書活動の計画的な実施や、各教科等の授業における図書館の積極的な活用を進めるとともに、地域や家庭の協力を得ながら、子どもが学校でも家庭でも読書の時間を楽しみ、本にふれる機会を増やす取組を進めます。

◆ 読書の機会づくり、読書への意欲を高める取り組みの実施

- 発達段階に応じたイベントなど読書活動推進の取組内容の充実
 - ・ 朝の読書活動、ブックトーク、ビブリオバトル（書評合戦）、読書会などの実施
 - ・ 児童生徒の図書委員会活動等の活性化
 - ・ 読書に関する情報発信
- 学習指導要領を踏まえた読書活動、言語環境の整備充実
 - ・ 司書教諭、学校司書が連携して学校図書館を計画的に活用した読書指導、学習指導を推進



委員章でやる気アップ

◆ 学校図書館の機能強化

- 学校司書配置を進め、学校図書館の機能を強化
- 図書資料の充実、図書以外の多様な資料の提供
 - ・ 新聞、雑誌、パンフレット、視聴覚資料等の提供、及びデジタルコンテンツの紹介
 - ・ 電子書籍の利用



整備された学校図書館

○ 組織的計画的な学校図書館の活用の推進

- ・ 年間活用計画の策定
- ・ 統計による学校図書館の評価

○ 教育のICT化への対応、情報センター機能の強化

- ・ 図書館管理システムの導入の検討
- ・ 図書館のICT環境整備、情報機器の整備

○ 学校図書館に関わる研修の充実

- ・ 司書教諭・学校図書館担当教員研修、学校司書研修等

◆ 保護者・地域・他機関等との連携、情報発信

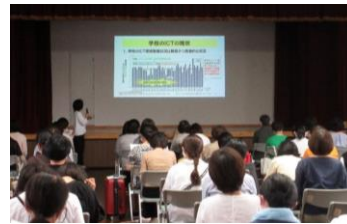
○ 市立図書館との連携

○ 保護者・地域への情報発信、啓発

○ ボランティアとの協働



活用促進のための計画作成



学校司書研修のようす

特別な配慮を必要とする児童生徒への取組

「視覚障害者等の読書活動の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」の理念にのっとり、障害の種類、程度にかかわらず等しく読書の機会が保障されることをめざします。また、日本語を第一言語としない児童生徒が豊かな読書活動が行えるよう環境整備と支援に努めます。

◆ 学校図書館を通じて、一人一人のニーズに応じた読書環境の提供

○ 学校図書館の整備

- ・ 利用案内や配架、サイン、資料提供方法等の工夫

○ アクセシブルな書籍や電子書籍等のニーズに応じた資料の提供

○ 日本語を第一言語としない児童生徒や異なる文化を背景に持つ児童生徒への資料提供

○ 読書支援機器の提供や利用支援

○ 点字図書館、市立図書館等との連携

○ ボランティアとの協働



資料提供の工夫



手作りのリディングトラッカー
(読書支援)

4. 市立図書館における読書活動推進の取組

子どもの読書活動推進の中核を担う図書館には、子どもたちが読みたい本や知りたい情報が十分にあることが重要です。そのため、図書資料の充実を図るとともに、子どもたちの読書スペースを充実し、読書環境を整備します。また、司書の資質向上に取組み、おはなし会などの行事や本に関わるイベント実施により、読書のきっかけづくりを行い、本や情報の探し方について発信し、子どもたちの情報活用を支援します。

また学校園、他機関、地域と連携し、館外へ出向いての取組や子どもの読書を支える大人への働きかけを行います。

◆ 生涯にわたって読書を楽しむ習慣を育てるための読書環境の整備

○ 児童書の充実

- ・子どもの興味・関心を広げる図書、学習に対応した幅広い図書の収集
- ・長く読み継がれ定評のある図書の提供

○ 乳幼児と保護者向けサービス（再掲）

○ 館内外での子どもと本をつなぐイベント実施、情報発信

- ・定例おはなし会、こどもの読書週間行事等の開催
- ・図書紹介リーフレット「としょ☆ぴか」（月刊）およびブックリストの発行

○ 小・中学生への調べ学習支援

- ・情報の探し方講座やイベントの実施、調べ方ガイドの作成

○ YAコーナーの充実を中心とした青少年層への読書推進

- ・10代の子どもたちを対象にした図書の充実や、テーマ展示の実施
- ・中高生同士が本を通して交流できるイベントの開催
- ・ホームページやSNS上での情報発信

◆ 学校園との連携

○ 授業支援のための資料提供

- ・総合学習用図書セットの貸出
- ・「テーマ本集め」による団体貸出（学習に関連する個別テーマでの図書提供）

○ 幼稚園への絵本セット巡回貸出

○ 教育委員会との連携による学校図書館運営の支援

- ・司書教諭および学校司書に対する研修、情報提供

○ 学校園へのお出前授業（ブックトーク、調べ学習講座等）

◆ 子どもの読書活動に関わるボランティア等との連携および支援

○ ボランティア活動に役立つ読み聞かせ講座等の実施、新刊本の情報提供

○ ボランティア交流会の開催

○ ボランティア団体との連携企画実施



ブックリスト「えほんの小箱」



図書館バックヤードツアー



調べ学習応援講座



ボランティアへの近刊紹介

◆ 特別な配慮が必要な子供たちへの支援

- 日本語を第一言語としない子ども、特別な支援を必要とする子どもに向けた図書の充実
 - ・大活字本やＬＬブック等アクセシブルな資料の収集・提供
 - ・ユニバーサル図書コーナーの設置
 - ・多言語による利用案内リーフレット作成
 - ・点字図書館との連携



「ブックトーク」自主研修会

◆ 児童サービス担当者の人材育成

- 自主研修会の実施、館外研修会等への参加

◆ ICT社会における子どもたちの読書、情報活用の支援

- 「神戸市電子図書館」（令和3年1月稼働）の充実と活用
- 紙の本とデジタル情報の相互利用による読書推進

5. こども本の森 神戸

「こども本の森 神戸」（令和4年春開館予定）は、寄付をされる建築家の安藤忠雄氏の思いを受け、「こどもたちに対して、良質で多様な図書または芸術文化及び歴史に触れあえる環境を提供する施設」として整備を進めるとともに、近隣施設、地域団体、企業、その他各種団体等との連携を図り、様々な企画などにより、本に触れあえる機会の創出に取り組んでいきます。

